

グローバルな人材を育成するための事業

専門性を追求するオーストラリア教育制度

プレ体験留学体験記

福武教育文化振興財団では、国際的に活躍する人材育成を重要な施策の一つに揚げています。今年度も高校生22名にオーストラリアの公立高等職業教育機関TAFEの職業教育・語学学習に触れてもらうプレ体験留学を8月に実施しました。

今号では、参加した高校生の体験記の一部をご紹介します。

TAFE (Technical and Further Education)

オーストラリア(国・州)が運営する、スキル習得のための公立キャリアカレッジ。

職業に直結した技術や知識を高める教育機関。オーストラリア全体で57校あり、160万人の学生が在籍しています。州によっては高校生の約半数がTAFEに進学します。TAFEが支持される理由は、講師の質や充実した設備の他、大学の2年時に編入するルートがあること、学費を押さえることができること、そして実践的なスキルを習得できることです。



国際人として自分を見つめる

明誠学院高等学校 3年 武上由法

TAFEでの教育は日本の教育と比べてはるかに高い水準でした。先生は、その職業でたくさんのキャリアを積み、社会で今なにが求められているのかを考えて教えてくださるので、社会に出た時に即戦力として力を発揮できるそうです。そして、本物の機械を使って授業を行ったり、企業との連携がとても強かったり、施設や設備も充実していたり、学生へのサポート面でも充実しているので、自分の力に磨きをかけ、安心して授業を受けることができます。また、高校に通いながら授業を受けることができ、高校卒業と同時に資格を手に入れることも可能だということです。

最近、日本の学生は海外に行かない、いわゆる内面的思考となっていますが、このプレ留学を通して、日本の学生はもっと海外に行くべきだと思います。日本の英語教育だけではこのグローバル化の激しい時代に対応できないと思います。海外に目を向けることにより、国際人として自分を見つめ、考え、向上することによって世界水準の語学力を初めて身につけることができると思います。

素晴らしい環境

岡山操山高等学校 3年 吉實莉子

TAFEについて、想像以上の設備の充実度、規模の大きさにとても驚きました。その広い敷地の中にある芝生や池はすべて園芸コースの授業で使うと聞いて、改めて実践的な授業が行われていると感じました。校舎には、ホスピタリティコースの生徒が運営しているレストランもあり、昼食をいただきました。美味しいだけでなく、見た目もきれいな料理を見て、TAFEの生徒のレベルの高さを感じました。また、レストランには園芸コースの生徒がつくった造花が飾られていました。ホスピタリティコースの生徒の料理を園芸コースの生徒が食べることもあるそうです。私はこういった、同じコースの仲間からだけでなく、違うコースの生徒からも刺激を受けられる環境をととても魅力に感じました。そして、TAFEを見学して私が一番素敵だと思ったのは、様々な国の生徒が交わり、それぞれの夢に向かってとても楽しそうに努力していることです。私もこんな素晴らしい環境で学びたいと強く思いました。

日本に帰った次の日には、勉強がしたくてたまらなくなり、英検の申し込みをしました。毎日少しずつ勉強しています。この経験が無駄にせず、夢に向かって努力し続けます。



進路選択の幅広さ

岡山東商業高等学校 3年 児玉舞雪

私が最も感動したのはオーストラリアの教育システムです。大学を卒業して社会人になった人が職業訓練校に戻ってこれることができたり訓練校から大学に入ったりと、とにかく進路選択の幅広さに驚かされました。そしてオーストラリアは留学生をたくさん受け入れており、留学生のための制度も整備されていることにも驚かされました。国全体が教育に力を入れていて日本とは全く違うと思いました。

私はこのプログラムに参加して、改めてグローバル化を推進するなら、自分の目で見て肌で感じるのが重要だと思いました。異国の人々と交流することで日本の文化を改めて知ることができるし、自分を高めることができると思います。また、日本の文化を世界に伝え、世界中の人が日本の文化に理解をしめし興味を持ってもらえるようにしたいと思います。世界中の国々がお互いを理解すれば、紛争もなくなり、平和な世界を築くことができるのではないのでしょうか。いつの日か外国で働き、日本と外国との架け橋になるような仕事をしたいと思います。

自分の意思を伝える力

津山商業高等学校 3年 平松詩絵里

TAFEを見学して実際に英語の授業に参加しましたが、オーストラリアの授業は、日本のように先生の話聞くばかりではなく、コミュニケーションを重視したスタイルで、グループやペアで話し合いと発言することが多く、自分の意思を伝える力が必要だとわかりました。私は教科の中では英語が好きなのですが、実際に外国に行くとなかなか通用しないのではないかと心配でした。しかしTAFEの先生方は生徒との距離も近く、生徒のことをよく考えていて、もし不安や悩みができて、気軽に相談しやすい環境だと感じました。さらにTAFEの施設についてですが、私の想像をはるかに超える大規模な敷地で、さまざまなコースがありました。どのコースも本格的で設備も充実していて驚きと感動の連続でした。見学するたびにになりたい職業が増えるような気がしました。自分の好きなことを勉強している生徒さんはとてもものびのびとしているのですが、ちゃんと自分の目標に向かって努力していて、輝いていました。

私はこのプレ留学に参加してオーストラリアの大自然や文化に触れ色々な発見をしましたが、私の暮らしている日本の文化や環境の素晴らしさにも気が付きました。もし機会があれば私の高校の後輩にも、体験するためになったこと、感じたことを伝えたいです。



一歩を踏み出す勇氣

笠岡高等学校 2年 山崎智陽

TAFEを視察した時は驚きの連続でした。充実した施設で非常に専門的なことを学ぶことができ、その素晴らしさに圧倒されました。今回通訳をしてくださった方たちもTAFEで通訳を学んでいたと聞き、TAFEで学ぶ実践的なことは将来自分のやりたいと思うことに大きく役立つのだと実感しました。TAFEの学生の自分の夢を信じ、頑張っている姿は非常に印象に残りました。私もこんな風にまっすぐに夢や目標に向かっていきたいと強く思いました。

今回のオーストラリアプレ体験留学は私に一歩踏み出す勇氣を与えてくれました。留学はずっと暮らしてきた日本を離れ、知らない土地に1人で行くという大変勇氣のいることだと思います。私は留学のことを考えるといつも、自分にそんなことができるのかなとか、ホームシックにならないかなとか、マイナスなことばかり考えていました。でも今回オーストラリアに行ったことを機に、考え方が大きく変わりました。確かに、留学に対する不安が全くなかったとは言えませんが、それ以上に挑戦してみたいという思いがとても強くなりました。たった1週間だけれど、ひとまわり成長できた気がします。

※プレ体験留学参加者の体験記を集めた報告書ができあがりました。ご希望の方は、財団事務局までお問い合わせください。